５年古典（古文）説話プリント①確認クイズ解答・解説（教科書８～９ページ）

「小式部内侍が大江山の歌の事」

・**古語クイズ①「下る」**正解イ（**下向する）「京から地方へ行く」**という意味。
本文では和泉式部が京から丹後に下向する意。対義語は「上る」。
ア「参詣する」ウ「参内する」→古語「参る」
オ「いらっしゃる」→古語「おはす」「おはします」。

・**古語クイズ②「つかはす」**正解ウ**「遣る」の尊敬語**。「尊敬語」は動作をする人（動作主）への敬意。そのため主語を考えるヒントになります。
「遣る（やる）」は「ⅰ使いの人を行かせる」場合と，「ⅱものや手紙を送る」場合があります。今回は「**つかはし**ける**人**は」と本文にあることから**ⅰ**。
「遣る」の対義語は「おこす」。「おこす」の現代語訳は「よこす」

・**古語クイズ③「参る」**正解イ（**謙譲語**）ここでは**「来」の謙譲語**。「謙譲語」は動作の受け手へ敬意。そのため動作の相手を考えるヒントになります。
「参る」は「行く」「来」の謙譲語でよく使います。ただし，ご奉仕する動作（食ふ，飲むなど）に限り，尊敬語で使うことがあります。

・**古語クイズ④「あさまし」**正解オ（**意外で驚く気持ち**）。
定頼は，**どのようなことに対して**「あさましく」感じたのか？
ア「張り合いがなくがっかりする気持ち」→古語「あへなし」
イ「かわいらしく愛しい気持ち」→古語「らうたし」
ウ「悔しく残念な気持ち」→古語「口惜し」
エ「不思議で怪しむ気持ち」→古語「あやし」

・**古語クイズ⑤「返し」**正解ア（和歌）**「返し」は「和歌を返すこと」**。
本文に「返しにも及ばず」とあり，定頼は小式部内侍への返歌ができませんでした。**その理由は何でしょうか？**

・**古語クイズ⑥「おぼえ」**正解イ（おぼゆ）
「おぼゆ」は「思ふ」に「ゆ」がついたもの。「ゆ」には「受身」「可能」「自発」の意味があり，「おぼえ」は「思われること」の意味でよく使います。
「世のおぼえ」は「世間での**評判**」という意味。「おぼえ」は「評判」という意味が一般的ですが，文脈によって「信頼」という意味でも用います。
「御おぼえ」は「ご寵愛」という意味でよく使われます。
ア「おぼす」は「思ふ」の尊敬語。

・**古語クイズ⑦「出で来」**正解エ（カ行変格活用）「出づ（ダ行下二段活用）」と「来（カ行変格活用）」の二つの動詞が合わさってできた動詞（複合動詞）。カ行変格活用の動詞は「来」一語のみ。複合動詞「出で来」は時々使います。古語では「四段活用（アイウエの四段に活用）」の動詞が最も多く，次に「下二段活用」の動詞が多い。下一段活用の動詞は「ける」一語のみ。

・**教科書の挿絵の女性は誰の袖をつかまえようとしているのか**　正解エ（定頼）
「局」はここでは「部屋」の意。定頼が「丹後へ～」と言って，小式部内侍がいる部屋の前を通り過ぎたときに小式部内侍は御簾（みす＝すだれ）から半分出て，定頼の直衣の袖をとらえた場面が挿絵では描かれている。
「言ひ入る」と「入る」がついていることから，部屋の中にいる人（小式部内侍）に定頼が声をかけたことがわかる。それに対して「よみかく」と「かく」がついており，小式部内侍が定頼に向かって和歌を詠んだことがわかる。また，「直衣」は男性の通常の服装。口絵参照。

・**和泉式部**は当時どのような人物として有名か？　正解イ（和歌に優れた女性）
『和泉式部日記』の作者としても有名です。才女で恋多き女性。

・**掛詞**の例を挙げてみよう。
「掛詞」は同じ音の語に二つの意味をかける技法。和歌のなかでも特に重要な語が掛詞になります。小式部内侍の詠んだ和歌でも掛詞が用いられており，**「ふみ」**に**「文」**と**「踏み」**，**「いくの」**に**「生野」**と**「行く」**が掛けられています。みなさんの答えからも，掛詞の例を挙げておきます。

①「あき」に「秋」と「飽き」　②「ふる」に「降る」と「古る」
③「うし」に「憂し」と「丑」　④「ながめ」に「長雨」と「眺め」
⑤「おもひ」に「思ひ」と「火」　⑥「逢坂山」に「逢ふ」と「逢坂」
⑦「かれ」に「枯れ」と「離れ」　⑧「さみだれ」に「五月雨」と「乱れ」
⑨「はる」に「春」と「張る」　⑩「あかし」に「明石」と「明かし」

※日本語は同じ音の語が多く，様々な掛詞があります。現代語のダジャレにも通じますね。他にも面白い例がたくさんありました。和歌では情景と心情が重なり合うことが多く，和歌を読み解く際のキーワードを見抜いたり和歌の中心は何かを考えたりする上で，大切なレトリックです。

・**この話にタイトル**をつけてみよう。※和歌は恋の場面でよく詠まれますが，今回は恋愛には発展せず，定頼は小式部内侍のもとから逃げてしまいます…。いろいろな角度からタイトルがつけられていたので，紹介します！

小式部内侍の実力発揮　　実力あるのみ　　思いがけない才能
能ある鷹は爪を隠す　　大才小式部内侍　　小式部内侍の才能の片鱗
小式部内侍、本領発揮　　小式部内侍の実力恐るべし
才能が開花した瞬間　　私の歌すごいでしょ　　小式部内侍のさうなき歌
小式部内侍の才能が認められた話　　小式部内侍の歌の上手さ
天才小式部内侍誕生　　天才少女小式部現る
小式部内侍の根性の歌　　女の力見してやったり
袖引き　　小式部、定頼を驚かし、名を轟かす
小式部内侍の逆転劇　　娘の逆襲　　悪ふざけなエリート貴族
なめんな　　上から目線は時に恥さらし。
哀（あは）れ！定頼中納言、小式部内侍に歌返せず！（週刊誌風に）
人を見下すと痛い目に合うというお話
おじさんの嫌味を歌で吹き飛ばす方法
定頼の中納言に負けたくないごん
小式部内侍才能ないし？そんなことないし！
歌人・小式部内侍誕生の物語　　「新」小式部内侍の誕生
母がいないからと見くびらないでください
母から受け継いだ才能　　二世だからって侮るべからず　　母娘もつ才能
親の七光りではなく実力だ。　　小式部内侍の優れた返し
小式部内侍の評判のきっかけ　　小式部内侍の頭角
小式部内侍、有名になる　　小式部、その名が知れ渡る
スカッとジャパン（古文）　スカッとする話
歌人、小式部内侍誕生物語　　歌人・小式部内侍はじまりの歌
幼くして有望な歌人デビュー⁉小式部内侍の武勇伝　　歌姫の誕生
小式部内侍が和歌で評判になる話　　古文的歌人サクセスストーリー

※おおよその内容はつかめましたか。来週現代語訳のプリントを配布予定です。人物関係や語の意味等，どこがわかりづらいか，確認しておこう。